

むつ社協 だより No 73

「社協」は(社)会福祉(協)議会の略称です。

●発行●
社会福祉むつ市社会福祉協議会
 〒035-0073 むつ市中央一丁目8番1号
 Tel (0175) 33-3023
 fax (0175) 23-5093
 川内支所 Tel (0175) 42-2002
 大畑支所 Tel (0175) 34-3537
 脇野沢支所 Tel (0175) 44-3550
 ●発行日●
 平成27年 8月25日号

新年度予算が決まり、事業開始

平成二十七年度のむつ市社会福祉協議会事業収支予算が、去る三月段階に於いて、理事会及び評議員会の議決を得て成立いたしました。

厚生労働省から全国全ての社会福祉法人に新会計基準が義務付けられたため、本会においても経理規程を全面的に改正し、新年度予算を編成いたしました。これは、社会福祉法人が運営する事業ごとに様々な会計ルールが併存していたものを統一の上、新たに拠点区分を設定することにより、会計処理の効率化と透明性を図る目的とされるものです。

この結果、本会の社会福祉事業収支予算は収入、支出とも、二億四千七百四十九万六千円として編成したものであります。

そして、新会計基準から、この内訳として拠点区分ごとの公表も義務づけられました。法人本部拠点区分予算は、一億四千六百二十二万九千円、訪問介護等ヘルパーステーション拠点区分予算は、四千八百十二万六千円、近川保育園拠点区分予算は、五千六百七十六万六千円として、各事業予算を計上いたしましたものであります。

御承知のとおり、法人本部が行います事業活動は、市民の皆様や各法人からの寄付行為、会費、そして市の補助金や委託金により成り立っているものでございます。

殊に、この法人本部拠点区分予算の七割を超え大宗を成す市の補助金、委託金は、今年度も市の厳しい財政状況の中、要望を叶えていただけたものであります。改めて、私共のミッションといったものに研ぎ澄まされた感覚を持って望む考えであります。

また、平成二十六年年度むつ市社会福祉協議会収支決算につきましても理事会の認定及び評議員会の承認をいただいておりますので、本紙にて御報告させていただきます。

本年度も市民皆様の御理解と御協力を得ながら、各方面と連携・協働しながらさまざまな事業推進に努めてまいりますので、よろしくお願いたします。

社会福祉 会長 田頭肇

むつ市社会福祉協議会

役員紹介

役員は、住民代表、福祉専門機関代表、関連機関・団体などの分野から組織されます。

任期	平成26年6月1日から 平成28年5月31日まで	監理事	理事	常務理事	理事	副会長	会長
		中村 正悦	羽根田 孝一	(平成27年1月1日 就任)	坪井 三子 船木 敏夫 渡野 忠行 小嶋 忠行 大嶋 隆男 板井 祥男 安田 祥幸 新谷 正昇	奥野 賢一	田頭 肇
		笹沼 正悦	二本柳 章子	下山 益雄 大芦 清重 石倉 清司 新井 秀子 坪井 三子 船木 敏夫 渡野 忠行 小嶋 忠行 大嶋 隆男 板井 祥男 安田 祥幸 新谷 正昇			

平成27年度事業計画

基本理念

わたしがつくる みんなでつくる

住みよいまち むつ

今日、少子高齢化の進展や家族形態の多様化、コミュニティ機能の低下が進む中、公的な制度だけでは解決できない様々な問題が発生しています。

また、依然として続く厳しい経済状況の中、全国的には所得格差や地域格差が顕著となるほか、孤独死や児童虐待の増加をはじめ、地域にも深刻な課題が存在しており、社会全体で福祉問題に取り組んでいくことが、今後ますます重要になるといわれています。

社会福祉法では「地域福祉の推進」が福祉サービスの基本理念のひとつとして明記されており、この推進を図ることを目的とする団体として、社会福祉協議会を位置づけています。

これらの流れは、地域に存在する公私の様々な主体が協働して地域住民の多様なニーズに応える総合的な支援を行ってきた全国各地の社会福祉協議会の活動が認識されたものと考えられますが、一般市民に対する認知度は、未だ決して高いものとは言えません。

このような中、本会では『わたしがつくる みんなでつくる 住みよいまち むつ』の基本理念のもと、その実現を目指して、従来から重点項目として取り組みを進めている事務・事業を中心に、より一層、住民参加型の有機的な活動を推進しながら各種事務事業への取り組みを強化していく必要があります。

一方、社会福祉協議会への補助金については年々、厳しい状況となっており、新規事業や人件費を含む事務事業全体の財源確保が困難な状況になってきているうえ、一般の介護保険制度改正では、地域包括ケアシステムの構築を視野に、全体として介護給付費の抑制を図ることとなり、本会もその影響を受けることが予想されます。

こういった状況に対し、本会としては受け身に回るのではなく、社会福祉法の考えに立脚した「地域住民に依拠した民間の福祉団体」として、信頼される組織づくりや地域のニーズと新しい時代の要請に基づいた新たな事業の開発・実施、人材の育成を行い、本会が地域に求められる役割を果たしつつ、法人の運営がより安定していくよう役員一同努めてまいります。

基本方針

- 1 住民が主役の地域福祉活動を支えています。
- 2 本会の特性を活かして、利用者の立場に立った在宅生活を支えています。
- 3 時代の変化に対応した社協の体制づくりを目指します。

部門別重点目標

- 1 会員の増強
- 2 職員の資質向上と専門職の確保
- 3 経営の安定化に向けた円滑で効率的な法人体制の整備
- 4 小地域活動の発展・強化
- 5 むつ市ボランティア・市民活動センター機能の充実
- 6 利用者の目線に立つケアマネジメント

事業実施計画

- 1 法人運営基盤の強化
 - ・会員加入の促進、広報活動、社会福祉大会の開催
- 2 地域福祉事業の充実
 - ・ほのぼののコミュニティ21推進事業、ほほえみの集い、福祉作文コンクール、外出支援サービス事業、助成事業、福祉ニーズの発掘他
- 3 ボランティア活動の振興
 - ・ボランティア・市民活動センターの充実、災害時被災者支援ネットワークの構築、善意銀行の運営、児童・生徒等の福祉意識の高揚とボランティア活動への積極的な参加促進
- 4 相談事業の推進
 - ・心配ごと相談所の効率的な運営、多岐にわたる相談内容に対処するため相談員の研修、結婚相談の充実、生活困窮者自立相談支援事業
- 5 福祉サービス利用援助事業の充実
 - ・苦情解決体制の充実、日常生活自立支援事業、各種貸付事業、成年後見監督業務
- 6 共同募金運動への協力
- 7 介護事業の充実
 - ・ホームヘルパーステーションの円滑な運営及び機能拡充、介護事業職員の資質向上
- 8 保育事業の経営
 - ・社会連帯による子どもの健全育成、仕事と育児の両立を目指す子育て支援

の継続と情報発信の充実化
地域のなかで必要とされる保育園運営

平成27年度むつ市社会福祉協議会収支予算書

「総括表」は、「法人本部拠点区分」、「ホームヘルパーステーション拠点区分」及び「近川保育園拠点区分」を合算したものです。が、拠点区分間とのやり取りを省略しているため合計数値は一致しません。

1 総括表

(1) 収入の部

(単位：千円)

勘定科目	予算額
会費収入	8,232
分担金収入	1,447
寄付金収入	1,610
経常経費補助金収入	78,601
受託金収入	32,506
貸付事業収入	8,600
事業収入	1,360
介護保険事業収入	45,716
介護保険外収入	480
保育事業収入	51,127
障害福祉サービス等事業収入	1,929
受取利息配当金収入	14
その他の収入	1,691
前期末支払資金残高	14,183
合計	247,496

(2) 支出の部

(単位：千円)

勘定科目	予算額
人件費支出	175,084
事業費支出	30,547
事務費支出	11,942
貸付事業支出	8,600
助成金支出	1,238
負担金支出	650
固定資産取得支出	2,798
予備費支出	1,276
当期末支払資金残高	15,361
合計	247,496

2 法人本部拠点区分

(1) 収入の部

(単位：千円)

勘定科目	予算額
会費収入	8,232
分担金収入	1,447
寄付金収入	1,610
経常経費補助金収入	78,601
受託金収入	32,506
貸付事業収入	8,600
事業収入	1,360
受取利息配当金収入	11
その他の収入	150
拠点区分間繰入金収入	3,625
前期末支払資金残高	10,087
合計	146,229

(2) 支出の部

(単位：千円)

勘定科目	予算額
人件費支出	98,425
事業費支出	15,580
事務費支出	10,377
貸付事業支出	8,600
助成金支出	1,238
負担金支出	650
固定資産取得支出	2,588
予備費支出	300
当期末支払資金残高	8,471
合計	146,229

3 ホームヘルパーステーション拠点区分

(1) 収入の部

(単位：千円)

勘定科目	予算額
介護保険事業収入	45,716
介護保険外収入	480
障害福祉サービス等事業収入	1,929
受取利息配当金収入	1
合計	48,126

(2) 支出の部

(単位：千円)

勘定科目	予算額
人件費支出	34,390
事業費支出	6,598
事務費支出	854
固定資産取得支出	210
拠点区分間繰入金支出	2,098
予備費支出	976
当期末支払資金残高	3,000
合計	48,126

4 近川保育園拠点区分

(1) 収入の部

(単位：千円)

勘定科目	予算額
保育事業収入	51,127
受取利息配当金収入	2
その他の収入	1,541
前期末支払資金残高	4,096
合計	56,766

(2) 支出の部

(単位：千円)

勘定科目	予算額
人件費支出	42,269
事業費支出	8,369
事務費支出	711
拠点区分間繰入金支出	1,527
当期末支払資金残高	3,890
合計	56,766

平成26年度 事業実績報告

誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めていくために、市民の皆様からいただいた会費や寄付金・共同募金配分金などで関係機関や団体・ボランティアの方々、そして多くの皆様の御参加と御協力を得ながら次の各事業を実施いたしました。

1 会務運営

- (1) 正副会長会議 (開催 25回)
- (2) 理事会 (開催 7回)
- (3) 評議員会 (開催 2回)
- (4) 各部会・委員会 (開催 14回)
- (5) 監査会 (開催 4回)

2 福祉活動の啓発

- (1) 社会福祉大会 (出席 350名)
- (2) 広報誌発行 (発行 5回)
- (3) ホームページの運営

3 在宅福祉サービス

- (1) ふれあいバスの旅 (参加 136名)
- (2) 福祉安心電話サービス事業 (設置 2台)
- (3) 外出支援サービス事業 (利用 408回)
- (4) 在宅介護者のつどい (参加 25名)
- (5) 愛の声かけ運動 (利用 5名)
- (6) いきいき交流会事業 (参加 492名)
- (7) ふれあい昼食会 (参加 110名)
- (8) 住宅用火災警報器設置事業 (設置 41件)

4 悩みごとの相談や福祉サービス利用の支援

- (1) 心配ごと相談 (相談 15件)
- (2) 結婚相談 (相談 35件)
- (3) 生活福祉資金貸付事業 (貸付 11件)
- (4) 助け合い資金貸付事業 (貸付 80件)
- (5) 高額療養費貸付事業 (貸付 14件)
- (6) 成年後見制度監督業務(実施) (4件)
- (7) 日常生活自立支援事業(契約) (70件)

5 地域福祉の推進

- (1) ほほえみのつどい事業(参加) (参加 143名)
 - (2) 福祉作文コンクール事業 (応募 230点)
 - (3) ふれあい福祉展事業(来場者) (700名)
 - (4) ふれあい福祉バザール事業 (開催 11回)
 - (5) 児童育成支援金支給事業 (対象 4名)
 - (6) 元気家族リフレッシュサロン事業 (参加 7名)
 - (7) ほのぼのコミュニティ21推進事業 (協力員 123名)
- ・地域福祉懇談会 (開催 16会場)
 - ・ほのぼの昼食会 (開催 29回)
 - ・ほのぼの交流協力員研修会 (参加 145名)
 - ・ほのぼの料理教室 (参加 64名)
 - ・ふれあいクリスマス会(参加) (参加 227名)
 - ・ふれあい交流会 (参加 37名)
 - ・世代間ふれあい交流 (参加 41名)
 - ・ふれあいウォーキング大会 (参加 172名)

・溪流を散策しながら

紅葉を楽しむ会(参加 126名)

- (8) 地域福祉活動支援助成事業 (助成 25団体)
- (9) 祭りを通じた社会参加支援事業 (参加 55名)
- (10) 高齢者ふれあい事業 (参加 87名)
- (11) ふれあい広場事業 (参加 55名)
- (12) 巡回入浴事業 (利用 602名)
- (13) 近川保育園の運営 (利用 44名)

6 介護サービス

- (1) 居宅介護支援事業 (利用 795件)
- (2) 訪問介護事業 (利用 582件)
- (3) 障害者福祉サービス (利用 73件)
- (4) 軽度生活援助ホームヘルプサービス事業(利用) (80件)
- (5) 介護保険外サービス事業 (利用 89件)

7 ボランティア・市民活動センター

- (1) ボランティア受付 (受付 137名)
- (2) ボランティア保険加入受付 (派遣 2件)
- (3) 除雪ボランティア事業 (出席 24名)
- (4) 善意銀行業務 (給付 3件)
- ・無縁仏供養会事業 (貸出 62台)
- ・火災見舞金支給事業
- ・車椅子貸出事業

平成26年度むつ市社会福祉協議会収支決算書

1 資金収支計算書 (自)平成26年 4月1日 (至)平成27年 3月31日

(単位：円)

借方		貸方	
勘定科目	決算額	勘定科目	決算額
人件費支出	181,222,477	会費収入	8,028,151
事務費支出	15,264,510	寄付金収入	1,786,926
事業費支出	27,273,260	補助金収入	75,220,000
貸付事業等支出	3,949,750	助成金収入	5,565,630
助成金支出	1,103,000	受託金収入	36,367,316
負担金支出	221,300	事業収入	1,808,148
雑支出	22,598	貸付事業等収入	3,851,750
本支所間繰入金支出	7,300,000	共同募金配分金収入	3,338,000
経理区分間繰入金支出	20,957,831	介護保険収入	41,819,324
補助金支出	21,968	介護保険外収入	1,151,500
返還金支出	1,731,523	自立支援費等収入	2,580,100
固定資産取得支出	3,140,875	運営費収入	43,682,720
積立預金積立支出	12,050,000	雑収入	1,870,689
その他の支出	157,580	受取利息配当金収入	23,538
当期末支払資金残高	28,043,539	本支所間繰入金収入	7,300,000
		経理区分間繰入金収入	20,957,831
		積立預金取崩収入	13,017,285
		その他の収入	339,167
		前期末支払資金残高	33,752,136
合計	302,460,211	合計	302,460,211

2 事業活動収支計算書 (自)平成26年 4月1日 (至)平成27年 3月31日

(単位：円)

借方		貸方	
勘定科目	決算額	勘定科目	決算額
人件費支出	181,222,477	会費収入	8,028,151
事務費支出	13,901,256	寄付金収入	1,786,926
事業費支出	27,273,260	補助金収入	75,220,000
助成金支出	1,103,000	助成金収入	5,565,630
負担金支出	221,300	受託金収入	36,367,316
基金組入額	11,000,000	事業収入	1,808,148
減価償却費	2,170,774	共同募金配分金収入	3,338,000
徴収不能額	255,000	介護保険収入	41,819,324
引当金繰入	14,992,435	介護保険外収入	1,151,500
本支所間繰入金支出	7,300,000	自立支援費等収入	2,580,100
経理区分間繰入金支出	20,957,831	運営費収入	43,682,720
返還金支出	1,753,491	雑収入	1,870,689
雑損失	22,598	基金取崩額	10,000,000
固定資産売却損及び処分損	2	引当金戻入	2,864,800
その他の特別損失	157,580	受取利息配当金収入	24,788
その他の積立金積立額	1,051,250	本支所間繰入金収入	7,300,000
次期繰越活動収支差額	23,962,155	経理区分間繰入金収入	20,957,831
		その他の特別収入	339,167
		その他の積立金取崩額	3,017,285
		前期繰越活動収支差額	39,622,034
合計	307,344,409	合計	307,344,409

3 貸借対照表 平成27年 3月31日現在

(単位：円)

科目		金額	科目		金額
資産	流動資産	60,031,356	負債の部	流動負債	41,087,917
	現金	134,408		未払金	7,608,430
	預貯金	19,787,842		預り金	2,195,927
	未収金	17,424,686		前受金	113,800
	貯蔵金	29,040		経理区分勘定	22,069,660
	前払金	585,720		賞与引当金	9,100,100
	経理区分勘定	22,069,660		固定負債	14,509,254
	固定資産	87,429,220		退職給与引当金	11,295,054
	基本財産	13,602,872		徴収不能引当金	3,214,200
	その他の固定資産	73,826,348		負債の部合計	55,597,171
部の部			純資産の部		
			基本金	16,450,000	
			基金	31,400,000	
			その他の積立金	20,051,250	
			次期繰越活動収支差額	23,962,155	
		純資産の部合計	91,863,405		
資産の部合計	147,460,576	負債の部及び純資産の部合計	147,460,576		

各事業への参加案内

◎ほのぼの昼食会

ひとり暮らし高齢者の方々を参加対象とし、参加者相互の交流及び健康維持を目的に市内5会場にて開催いたします。

- 参加対象 市内にお住まいの65歳以上のひとり暮らしの方、又は日中に独居の方
- 参加費 いずれの会場も無料
- 開催時間 午前11時から午後2時まで
- 開催内容 いきいき健康教室、昼食、お楽しみゲーム
- 参加申込 御希望の会場を本会本支所へ電話にてお申込ください。
- その他 御不明なところがありましたら、お気軽にお問い合わせください。

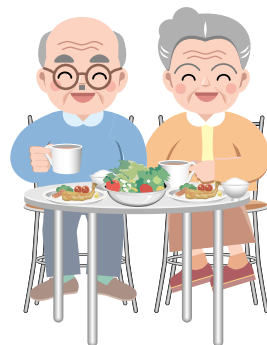
①脇野沢会場

- 日 時 9月16日(水)午前11時
- 会場 脇野沢地域交流センター
- 申込締切 9月7日(月)
- 申込先 脇野沢支所 鈴木
- 電話 44-3550



②田名部会場

- 日 時 9月18日(金)午前11時
- 会場 老人憩の家「禄寿荘」
- 申込締切 9月8日(火)
- 申込先 むつ本所 美馬
- 電話 33-3023



③大湊会場

- 日 時 9月25日(金)午前11時
- 会場 老人憩の家「福寿荘」
- 申込締切 9月15日(火)
- 申込先 むつ本所 美馬
- 電話 33-3023

④大畑会場

- 日 時 9月30日(水)午前11時
- 会場 ふれあいかん
- 申込締切 9月18日(金)
- 申込先 大畑支所 中寫
- 電話 34-3537

⑤川内会場

- 日 時 10月8日(木)午前11時
- 会場 川内公民館
- 申込締切 9月28日(月)
- 申込先 川内支所 川瀬
- 電話 42-2002

◎ほほえみのつどい

障害児・者、ボランティアの方々を対象として、レクリエーションを通じて参加者相互の交流及び親睦を図ることを目的に開催いたします。

- 日 時 10月25日(日)午前10時30分から午後1時まで
- 会場 早掛レイクサイドキャンプ場
- 参加対象 障害児・者及び家族、一般のボランティア希望の方
- 内容 レクリエーション、バーベキュー
- 送迎バス 送迎バスを配車いたしますので、申込の際に乗車場所をお知らせください。
- 申込締切 10月16日(金)
- 申込先 むつ本所 美馬
- 電話 33-3023





◎社会福祉大会

多年にわたり社会福祉の発展に功績のあった方々への表彰、記念講演、また、福祉団体による作品展示即売を行います。

- 日 時 11月6日(金) 午後1時
- 会場 むつグランドホテル 市内にお住まいの方
- 参加対象 無料
- 参加費 無料
- 参加申込 申込は必要ありません
- 記念講演 未定

◎ふれあい福祉展

福祉施設及び福祉団体等の紹介、入所者(利用者)の作品展示及び販売することにより、活動への理解・協力を目的に開催いたします。皆様お誘い合わせの上、御来場ください。



- 日 時 11月21日(土) 午前10時から 午後3時まで
22日(日) 午前10時から 午後2時まで
- 会場 下北文化会館「展示ホール、大集会室、集会室1、集会室2」
高齢者・障害児・者施設、福祉団体、ボランティア団体 他
- 参加施設 無料
- 入場料 無料
- 展示内容 福祉施設及び福祉団体の紹介、木工・手芸品、陶芸品等の展示、食料品・日用品、リサイクル品のバザー、食堂営業

各事業の利用案内

◎外出支援サービス事業

～外出することがお困りの方へ～
下肢が不自由等の理由で外出が困難な方へのサービスを行います

●対象者

高齢者及び身体障害者など下肢が不自由な在宅の方で、車椅子又はストレッチャを利用しなければ移動することが困難な方(原則要介護3以上又は身体障害者手帳の障害等級が下肢・体幹2級以上)



●内 容 福祉輸送車両により
送迎します。

●利用までの流れ

- ①事前に会員登録を行います。
(会員登録料一、二三〇円)
- ②事前に利用券を購入してください。
- ③利用する日時を御予約ください。

●利用料

走行距離	利用料
3kmまで	600円
5kmまで	900円
10kmまで	1,200円
15kmまで	1,400円
20kmまで	1,600円
25kmまで	1,800円
30kmまで	2,000円
35kmまで	2,200円
40kmまで	2,400円
45kmまで	2,600円
50kmまで	2,800円
50kmを超える場合	10kmにつき700円

●登録・利用券販売

市役所介護福祉課・各庁舎市民福祉課

●予約先 本会本支所

- むつ地区 電話 22-1413
- 川内地区 電話 42-002
- 大畑地区 電話 34-3537
- 脇野沢地区 電話 44-3550

茶話やかサロン

〜お茶っこ飲みさ 来さまい〜



本会では、本年度より自宅から歩いて行ける場所ので気軽に集う「茶話やかサロン」を市内7か所を拠点に実施しております。皆様、お誘い合わせの上、お気軽に御参加ください。



海老川町カレンダーづくり



中央公民館



山田町輪投げ



長寿荘健康体操

●茶話やかサロンは

地域住民や高齢者が、「気軽に」「楽しく」お茶を飲みながら時間を過ごしていただき、仲間づくりの輪を広げることが目的に開催しております。

併せて、無理なく参加でき、体を動かす「健康体操」や「血圧測定」、「レクリエーション」等を通じ、介護予防の拠点として機能する活動が「茶話やかサロン」です。

●参加対象 市内にお住まいの60歳以上の方

●参加費 お一人様一回100円(お茶菓子代)

●会場及び開催日(毎月)

- ①中央公民館(大湊浜町) 第1月曜日
 - ②海老川コミュニティセンター 第1木曜日
 - ③老人憩の家「長寿荘」(出戸川旦) 第2火曜日
 - ④山田町集会所 第3火曜日
 - ⑤あじさい館(緑ヶ丘) 第3木曜日
 - ⑥柳町明神宮社務所(奉公会館) 第4火曜日
 - ⑦大曲コミュニティセンター 第4木曜日
- ※ 開催日が祝日に当たる日は、休みとなります。

●時間 午後1時30分から 午後4時頃まで

●その他 参加申込みは必要ありませんので、御都合のよい日時に御参加ください。

●問合せ先 むつ本所 若佐

電話 33-3023

ホームヘルプサービス利用案内

「介護のこと、ひとりで
かかえていませんか？」

むつ市社会福祉協議会では、ホームヘルプサービス（ヘルプ）を24時間、年中無休で設置運営しており、次のサービスが利用できます。どんな介護のことでもお気軽に御相談ください。

◎指定訪問介護事業

介護歴15年以上のベテランを筆頭に経験豊富なホームヘルパーが質の高い訪問介護サービスを提供し、在宅生活のお手伝いをします。

※ 自己負担目安額（介護保険の場合）

- 身体介護（入浴、排泄、食事、更衣等）
- 20分以上30分未満 245円
- 30分以上1時間未満 388円



● 生活援助（調理、洗濯、掃除、買物等）

- 20分以上45分未満 183円
- 45分以上 225円

◎指定居宅介護支援事業

介護が必要になった場合でも、自立した在宅生活の実現に向けてケアマネジャーと共に居宅サービス計画（ケアプラン）を考え、適切なサービス提供が確保されるように支援します。



◎障害福祉サービス事業

障害を持つ方々が利用できるサービスのより一層の充実・推進を図るため、障害者の日常生活を総合的に支援するための法律によるサービスを実施しています。



◎お問い合わせ先

電話 33-2355（ケアマネジャー）
電話 23-9119（ホームヘルパー）

近川保育園

夕涼み会



近川保育園では、7月11日（土）園庭において「夕涼み会」を開きました。

大勢の園児、御家族が参加して大変にぎやかな会となりました。父兄の皆様が運営する夜店や遊びのコーナーはどれも大盛況でした。

また、組ごとに盆踊りや和太鼓が行われ、日頃の練習の成果を発揮しての可愛い踊りに、保護者の皆さんもカメラやビデオに大忙しといった風景が見られました。父兄の皆様、準備から運営、そして後片付けとお疲れ様でした。

※ 通年で園児（乳児可）を募集していますので、お気軽にお問い合わせください。

近川保育園 電話 26-2117



第45回 福祉作文 コンクール

むつ市社会福祉協議会では、2月22日(日)むつ市中央公民館において、「第45回むつ市福祉作文コンクール」表彰式を行い、入賞児童及び生徒へ表彰状と記念品を授与しました。

このコンクールは、本会における「子ども頃から福祉にふれられる環境づくり」への取り組みの一環として、日々の生活での福祉体験や、ボランティア活動等を通して得た思いなどを作文で表現することを通じ、次代を担う子ども達の「福祉の心」を育むことを目的に例年開催しているものです。

今回は、小学生79点、中学生15点と合わせて230点もの応募があり、下北国語教育研究会の川畑会長様他5名の先生方による審査を経て、最優秀賞5作品、優秀賞6作品、佳作11作品の計22作品が入賞となりました。

表彰式では、最優秀賞に選ばれた児童・生徒による作品の朗読も行われ、子ども達の福祉に対する素直な思いが綴られた内容と、その表現力の豊かさに会場から盛大な拍手が送られました。

また、一般社団法人公済会様から、入賞者へ記念品として楯が贈られました。

○最優秀賞の部 5作品

「おばあちゃんのためにできること」
奥戸小学校 5年 太田 眞 侑

「私達にできること」
奥内小学校 6年 工藤 葵

「命をつなぐ」
大畑中学校 1年 田村 凜 生

「我が家の介護とは」
大畑中学校 1年 金田 実 紗

「兄が教えてくれた事」
むつ中学校 1年 阿部 奈津子

○優秀賞の部 6作品

「家族のきずなは永遠に」
苫生小学校 5年 大林 優 沙

「老人とのふれ合いから学ぶ」
大湊小学校 6年 渡 邊 明 音

「祖母に優しく」
むつ中学校 1年 小野 紋 奈

「ボランティアの意味」
むつ中学校 1年 工藤 美 優

「私のボランティア活動」
大畑中学校 1年 堺 悠

「人と人のつながり」
関根中学校 2年 葛野 朱 華

○佳作の部 11作品

「マララさんをおうえん」
大湊小学校 2年 田 浦 雪 乃

「福祉」
苫生小学校 4年 麥 澤 聖 奈

「今、私にできること」
大湊小学校 4年 鈴木 愛 来

「おれいに」
大湊小学校 4年 石ヶ守 美 玲

「みんなの笑顔」
むつ中学校 1年 井上 遥 水

「地球の裏側まで届く善意の心」
大畑中学校 1年 石 田 麻 紘

「言葉をかける勇氣」
むつ中学校 1年 小林 真 乃

「大切なのは？」
むつ中学校 1年 小坂 志 保

「ほのほのという活動を通じて」
大間中学校 1年 手塚 ゆ う

「わが家の介護生活」
むつ中学校 2年 野辺地 舞 香

「人を想う心」
大畑中学校 2年 小松 優 生

講評

視線の向こうに見えてくるもの

下北国語教育研究会会長
むつ市立大湊小学校校長 川 畑 恵 子

福祉の輪の広がりをめざして開催されてまいりました「むつ市福祉作文コンクール」は今年で数えて第45回目を迎えました。そして、この度あらたに「下北郡福祉作文コンクール」としてもスタートを切りましたことに、心よりお祝いを申し上げます。

また、社会福祉協議会ならびに関係者の皆さまにおかれましては、日頃より子どもたちの健全育成にご尽力を賜り、学校教育を預かる一人として厚く感謝申し上げます。

さて、各小中学校児童生徒より寄せられた作品総数は230点(小79点、中151点)でしたが、今年はいったいどんな作品に出会うことが出来るのだろうかと期待をもって読ませていただきました。

まず、全体として人と人とが心を通わず優しさや温もりに包まれた作品がいつものように多かったことが挙げられます。さらに、高齢化社会の厳しい現状を伝えている作品が8割を超え、なかには危機感を覚えずにはいられない内容も多々ありました。子どもたちは、作品を通して、私たちが暮らすこの地域でも高齢化社会の問題がもはや他人事ではなくなっているということを訴えていました。

しかし、「これからは自分から進んで行動することを目標にして生活していきたい」、「話しかけることや笑顔を見せることを通して心のメッセージを送り続けたい」、「家族みんなを支えていきたい」というように、目の

前の問題を少しでも改善しようとか解決したいという意欲にあふれた作品が多く、確固たる意志で自分の思いを行動に移すことのできる人間として成長しているその様子に大いに勇気づけられた思いがいたしました。

その一方で、入賞作品にも見られるように、地域で活躍するお年寄りやボランティア活動のこと、あるいは障害者福祉にかかわること、ノーベル平和賞を受賞したマララ・ユフスザイさんのことについて書かれた作品もまた大いに評価したいと思います。これらの作品もまた、物事をさまざまな角度から多面的に見ることの大切さを教えてくれているからです。

先日、看護師の方々が忙しい仕事のなか、思いやりの心をもって入院患者の皆さんに接する場面に出会う機会がありました。ナースコールに呼び出されては、あちらの患者こちらの患者と走り回り、点滴や薬の確認、さらにお風呂や食事の世話……というように、その仕事は数え上げればきりがありません。しかし、どんなに忙しくても、入院患者をいたわり励ますその姿勢には全く頭が下がる思いでしたし、仕事に誇りを持っていることを強く感じさせられたのでした。このように、病氣と闘う人、看病や介護をする人、医療に従事する人と、社会は様々な立場で支え合う人々によって成り立っているのです。

福祉の仕事为例にしてみても、介護の仕事、保健・医療の仕事、リハビリテーションの仕事、保育の仕事、相談・援助・調整の仕事というようにその分野は多岐に渡っています。

小中学生にとって「福祉」との出会いには身近な家族との出来事から始まりますが、物事

をどのような立場からどのように見てとるか、が肝要なのではないでしょうか。支えられる人」の側からなのか、あるいは「支える人」の側からなのか、どちらに視点を置くかでも物の見方や考え方はまるで違ってくるはずです。

今回、福祉作文コンクールに応募したすべての小中学生、そして、次の機会に参加することになるであろう小中学生の皆さんには、広い視野で福祉の問題を考える機会にしたい。ただきたいと思えます。そして、その時には、目の前に見えてはいないけれど、ちよつと足を動かして立ち位置を変えれば向こうに見えるてくるものを是非とも大事にしてほしいものです。これから、ますます地域の子どもも大人も、若者も高齢者も、皆がよりよい暮らしができるようにいっそう支え合っていきたいものです。

結びになりますが、各校の先生方にはご多忙のなか熱心にご指導をいただきましたことに厚くお礼を申し上げます。次世代を担うむつ下北の子どもたちがよりいっそう健やかに成長することを願って講評いたします。



むつ市社会福祉協議会会員への御加入に御協力をお願いいたします。

むつ市社会福祉協議会（以下「社協」といいます。）は、地域の皆様に支えられた民間の福祉団体です。社協の事業を進めるための財源は、会員会費、寄付金、共同募金の配分金のほかに、青森県社会福祉協議会、青森県及び市からの補助金、助成金及び受託金により賄われています。

社協は、営利を目的としていないため、事業を維持・発展させるための資金を集めることが大きな課題となっています。

このうち会員会費と寄付金は、社協が民間福祉の推進機関として、自立的な活動を展開するための重要な資金となっています。

社協の活動を御理解いただき、ひとりでも多くの皆様の社協会員への御協力をお願いいたします。

◇ 会員の種類 ◇

区 分	対 象	年 会 費
正 会 員	本会の理事・監事・評議員及び職員	3,000円
普通会員	むつ市に住所を有する世帯／町内会等の市民組織団体、福祉関係組織及び団体	1,000円から
賛助会員	社会福祉に関心を有し、本会の目的に賛同する一般個人又は法人団体等	3,000円から

◇ 入会方法 ◇

会員に御加入いただける場合は、入会申込書に必要事項を御記入いただき、来所又は郵送によりお知らせください。事務局から会費納入方法等について御案内させていただきます。

福祉への心温かい、御寄付ありがとうございました。

皆様からいただいた寄付金は、各種の地域福祉事業に活用しております。

- 清澤寺除夜鐘の会 様 20,850円
- むつフレンドリークラブ 様 30,000円
- 匿 名 4,000円
- むつ脇野沢ライオンズクラブ 様 20,000円
- 4クラブ合同ゴルフコンペ 様 30,000円
- むつみらいライオンズクラブ 様 50,000円
- 昭和7年同期会（大畑地区） 様 30,000円
- 大湊カトリック幼稚園 様 12,478円
- 大畑民生OB会 様 22,000円
- 田名部カトリック幼稚園児・教職員一同 様
..... 14,194円
- 青森県立田名部高等学校大畑校舎JRC部 様
..... 6,251円
- 青森県立田名部高等学校大畑校舎 様 20,763円
- 匿 名 30,000円
- 中 村 俊 三 様 1,000円
- 匿 名 6,500円
- むつ地区更生保護女性会 様 30,000円
- 匿 名 59,000円

- スーパーエチゴヤ 様 13,349円
- 大湊地区神楽連合会 様 119,472円
- 工 藤 和歌子 様 10,000円
- 石 倉 司 様 5,000円
- 匿 名 30,000円
- ほたる歌謡クラブ 様 30,000円
- 社会福祉団体日本難病を救う会 様 79,498円
- 梶 野 敏 博 様 15,070円
- 早乙女 清次郎 様 30,000円

主な物品寄付

- (株)中浜トーヨー住器 様
..... 住宅用火災警報器 60器
- むつ市立第二田名部小学校児童会 様
..... 車椅子 1台

平成27年1月1日から平成27年8月2日まで